

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 サクラ フレーバー T
会社名 株式会社ミコヤ香商
住 所 東京都渋谷区幡ヶ谷2-16-1 三和ビル8階
担当部門 営業部
電話番号 03-3377-3377

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

引火性液体 : 区分3
急性毒性(経口) : 区分外
急性毒性(経皮) : 区分外(混合物の4.0%は急性経皮毒性が未知の成分からなる)
急性毒性(吸入) : 区分外(混合物の19.0%は急性吸入毒性が未知の成分からなる)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 : 区分2
呼吸器感受性 : 分類できない
皮膚感受性 : 区分1
生殖細胞変異原性 : 区分1B
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 区分1A
特定標的臓器毒性,単回ばく露 : 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性,反復ばく露 : 区分1
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない
水生環境有害性(急性) : 分類できない(この混合物の成分18.3%については水生環境有害性が不明である)
水生環境有害性(長期間) : 分類できない(この混合物の成分18.3%については水生環境有害性が不明である)

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル、注意喚起語



危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

[安全対策(予防策)]

火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
 保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。
 換気の良い場所で使用し、揮発成分の蒸気(ヘーパー)・粉じんの吸入を極力避けること。
 取扱い後は充分に手洗いをすること。

[応急措置(対応)]

皮膚や衣服に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
 多量に吸入し気分が悪くなった場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。症状に応じて医師に連絡すること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断・手当てを受けること。
 眼や皮膚の刺激又は発しんが生じた場合や吸入し気分が悪い場合は、医師の診断・手当てを受けること。

[保管(貯蔵)]

換気のある冷暗所(又は指定の場所)に密閉して適切に保管すること。

[廃棄]

残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : 香料製剤
 成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量	化管法
エタノール	64-17-5	40~50%	
酢酸ベンジル	140-11-4	0.1~1%	第二種指定化学物質
ベンズアルデヒド	100-52-7	1.4%	第一種指定化学物質

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体の保温に努める。
 被災者が意識を失っている場合には、口中の異物を取り除く。
 被災者の呼吸が止まった場合は、速やかに人工呼吸を行なう。
 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合 : 石けんで充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。
 必要に応じて医師の診断を受ける。
 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。
 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。
 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、コップ1~2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。
 無理に吐かせてはいけない。
 被災者に意識が無い場合には、口から何を与えてもいけないし、吐かせようとしてもいけない。
 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、乾燥砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等。
 使ってはならない消火剤 : 特になし。
 特有の消火方法 : 消火剤を火元へ放射、散布等をして消火する。
 消火作業は可能な限り風上から行う。
 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。
 火災発生場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 消火を行なう者の保護 : 消火作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際、吸入や皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。
 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密封できる金属容器等に回収して適切に処理する。多量の場合には、盛土で囲って流失を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 二次災害の防止策 : 付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。
- 安全取扱注意事項 : 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。
ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。
蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。
取扱い後は充分に手洗いをする。

保管

- 安全な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所(又は指定の場所)に密閉して適切に保管する。
消防法、労働安全衛生法等の法令の定めるところに従う。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度:

成分名	管理濃度	許容濃度		
		日本産業衛生学会 ¹⁾	ACGIH(TWA) ²⁾	ACGIH(STEL) ²⁾
エタノール	-	-	-	1000ppm
酢酸ベンジル	-	-	10ppm	-
ヘンズアルデヒド	-	-	-	-

- 設備対策 : 取扱いの際は、設備の密閉化又は局所排気装置を使用する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 呼吸用保護具
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼の保護具 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護服(長袖作業服等)

9. 物理的及び化学的性質

外観

- 形状 : 液体
- 色 : 無色～淡黄色
- 臭い : 特有の香気
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 引火点 : 27.5°C(タグ密閉式)
- 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 比重 : 0.85～1.05(20°C/20°C)
- 自然発火温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 通常の条件下では、安定で、自己重合性はない。
- 反応性 : 通常の条件下では、反応性はない。
- 危険有害反応可能性 : 特記すべき反応性はない。
- 避けるべき条件 : 特記すべき条件はない。
- 混触危険物質 : 特記すべき物質はない。
- 危険有害な分解生成物 : 自己分解により有毒ガスを発生することはない。

11. 有害性情報

- 製品(混合物)及び有害性を有する成分の有害性情報、環境影響情報は、別表のとおり。

12. 環境影響情報

- 水生環境有害性(急性) : 分類できない(この混合物の成分18.3%については水生環境有害性が不明である)
- 水生環境有害性(長期間) : 分類できない(この混合物の成分18.3%については水生環境有害性が不明である)
- 生態毒性 : 混合物としての知見なし。
- 残留性・分解性 : 混合物としての知見なし。
- 生態蓄積性 : 混合物としての知見なし。
- 土壌中の移動性 : 混合物としての知見なし。
- オゾン層への有害性 : 混合物としての知見なし。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
汚染容器及び包装 : 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国内規制

- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送 : 船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送 : 航空法等に定められている輸送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- : 容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。
: 火気厳禁とする。

緊急時対応措置指針 : 指針番号 130

国際規制

- 国連番号 : UN1197
国連輸送名 : EXTRACTS,FLAVOURING,LIQUID
国連分類 : 3 (引火性液体類)
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 該当せず

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物
労働安全衛生法 : 引火性の物
労働安全衛生法 : 変異原性が認められた既存化学物質(法第57条の5、労働基準局長通達)(政令番号:115)
化管法 : 指定化学物質等
消防法 : 第四類 第二石油類(非水溶性) 危険等級III
船舶安全法 : 引火性液体類
食品衛生法 : 食品添加物

16. その他の情報

参考文献

- 1) 産業衛生学会誌(2013年度版)
- 2) Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices (ACGIH) 2013年度版
- 3) 香料のGHS対応の手引き(改訂2版) 日本香料工業会
- 4) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) GHS分類結果
- 5) 香料の表示指針(2013年版) 日本香料工業会
- 6) IFRA-IOFI Labeling Manual 2013

記載内容の取扱いについて

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

別表

製品(混合物)及び有害性を有する成分の有害性情報、環境影響情報 ^{3), 4), 6)}

有害性項目	製品(混合物) GHS分類結果	有害性を有する成分のGHS分類		
		エタノール	酢酸ベンジル	ヘンズアルデヒド ⁶⁾
急性毒性(経口)	区分外	区分外	区分外	区分4
急性毒性(経皮)	区分外	区分外	区分外	分類できない
急性毒性(吸入)	区分外	区分外	分類できない	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない	区分外	区分2	区分2
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	区分2	区分2B	区分2	区分2B
呼吸器感作性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚感作性	区分1	分類できない	分類できない	区分1
生殖細胞変異原性	区分1B	区分1B	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	分類できない	分類できない	区分外
生殖毒性	区分1A	区分1A	分類できない	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)	区分1 区分3(麻酔作用)	区分2 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1	区分1	区分1	区分1
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
水生環境有害性(急性)	分類できない	区分外	区分2	区分2
水生環境有害性(長期間)	分類できない	区分外	区分3	区分外

有害性項目	有害性を有する成分のGHS分類			
急性毒性(経口)				
急性毒性(経皮)				
急性毒性(吸入)				
皮膚腐食性及び皮膚刺激性				
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性				
呼吸器感作性				
皮膚感作性				
生殖細胞変異原性				
発がん性				
生殖毒性				
特定標的臓器毒性(単回ばく露)				
特定標的臓器毒性(反復ばく露)				
吸引性呼吸器有害性				
水生環境有害性(急性)				
水生環境有害性(長期間)				

有害性項目	有害性を有する成分のGHS分類			
急性毒性(経口)				
急性毒性(経皮)				
急性毒性(吸入)				
皮膚腐食性及び皮膚刺激性				
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性				
呼吸器感作性				
皮膚感作性				
生殖細胞変異原性				
発がん性				
生殖毒性				
特定標的臓器毒性(単回ばく露)				
特定標的臓器毒性(反復ばく露)				
吸引性呼吸器有害性				
水生環境有害性(急性)				
水生環境有害性(長期間)				